

# 【LINE Pay】12/14から大阪市で全国初の税金支払いに対応

2018.11.15    Fintech関連サービス

個人市・府民税、固定資産税などの納付書に印字された  
バーコードをスマートフォンで読み込むだけで支払い可能に

LINE Pay株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役CEO：高 永受）は、コミュニケーションアプリ「LINE（ライン）」上で展開するモバイル送金・決済サービス「LINE Pay」（<http://line.me/pay>）の「LINE Pay 請求書支払い」において、2018年12月14日（金）以降、大阪市の税金の支払いに対応いたしますので、お知らせいたします。このたび、株式会社電算システムが行う収納代行サービスを通じて、大阪市の発行する納付書を「LINE Pay 請求書支払い」でお支払い可能になります。以下の税金に対応いたします。

## ■対象となる納付書

個人市・府民税（普通徴収）

個人市・府民税（特別徴収）

固定資産税・都市計画税（土地・家屋）

固定資産税（償却資産）

軽自動車税

法人市民税

事業所税

市たばこ税

入湯税

「LINE Pay 請求書支払い」とは、公共料金や通信販売などの請求書上に印字されたバーコードをスマートフォンで読み込むだけで、24時間、「LINE Pay」で支払いができるサービスです。支払いのための現金準備の手間、店舗に赴く時間が省けるため、払い忘れの防止に役立ち、収納率アップが見込めます。ユーザー、発行企業双方にメリットのあるサービスです。

## 注意事項

＊一部収納会社が発行する請求書に関しては、「LINE Pay 請求書支払い」での支払い手数料がユーザー本人持ちとなる場合がございます。手数料の発生有無は、サービスご利用ステップの中で確認することができます。大阪市税納付の際は手数料は発生しません。

「LINE Pay」、「LINE Pay 請求書支払い」のご利用は、コミュニケーションアプリ「LINE」内、「ウォレット」タブから「LINE Pay」の利用規約に同意することで可能になります。

「LINE Pay」は、お金の流通で生じる時間や手間、手数料など様々な摩擦をゼロにし、人とお金・サービスの距離を近づけてまいります。将来のキャッシュレス・ウォレットレス社会を見据え、モバイルフィンテックの世界をリードする存在になることを目指します。

## ■「LINE Pay 請求書支払い」の利用方法

- 1) スマートフォンの「LINE」内、お財布マークの「ウォレット」タブから「請求書支払い」をタップ
- 2) 案内を読んで次へ進むと、コードリーダーが立ち上がる
- 3) お手元の請求書のバーコードを読み取る
- 4) 画面上に表示された請求内容を確認する
- 5) 支払いを行う
- 6) パスワードを入力する
- 7) 支払い終了（完了時点で、お手元の「LINE」アプリにメッセージが届きます）

## LINE Pay 請求書支払い ご利用方法



① [ 請求書支払い ] をタップ



② 案内を読んで[ 次へ ]



③ 立ち上がったコードリーダーで  
お手元のバーコードを読み込む



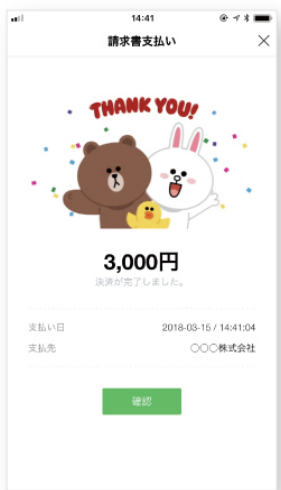
④ 請求内容を確認する



⑤ 支払いを行う



⑥ パスワードを入力する



⑦ 支払い完了

社名：LINE Pay株式会社  
本社所在地：東京都新宿区新宿4-1-6 JR新宿ミライナタワー 23階  
代表者：代表取締役CEO 高 永受  
資本金：3,600百万円  
設立：2014年5月9日  
主な事業内容：  
- 電子マネーその他の電子的価値情報及び前払式支払手段の発行、販売並びに管理、電子決済システムの提供及び資金移動業  
- 「LINE@」の販売・運営  
- サービス開発事業  
- 広告代理事業

「LINE Pay 請求書支払い」対応請求書一覧：<https://line.me/ja/pay/merchant/invoiceline>

LINE Pay株式会社では、下記の協会への加入および事業者登録を行っております。

- ・前払式支払手段（第三者型）発行者 （登録番号：関東財務局長00669号 / 登録日：2014年10月1日）
- ・資金移動業者 （登録番号：関東財務局長00036号 / 登録日：2014年10月1日）
- ・一般社団法人日本資金決済業協会 （ <http://www.s-kessai.jp/> / 入会日：2014年8月6日）

---